

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 合成生物学的手法による抗生物質の自在合成基盤の確立
2. 研究代表者： 湯澤 賢（慶應義塾大学 先端生命科学研究所 特任講師）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、抗生物質様の人工化合物を短期間で供給する微生物生産プラットフォームの開発を行い、抗生物質の開発速度の加速を目指す挑戦的な研究である。

フェーズ1では、新たな合成生物学ツール、モジュール改変技術の開発に成功しており、研究全体を推進させる技術的な成果を得たことが評価できる。フェーズ2は、フェーズ1の成果をさらに発展させた合成生物学的ツールの開発や、生合成遺伝子クラスターの合成と機能発現、巨大酵素の四次構造解析などを目指した挑戦的な計画であり、最終的なゴールである抗生物質の生産にまで結びつくことに期待する。

以上